



細川 宏幸 議員

保育所の入所手続きは適正か 手続き方法は適正と考える

Q 年度途中での保育所入所の申し込みは、入所を希望する月の2カ月前から前月15日まで申し込み、入所日は毎月1日となっている。果たして、この形式は、保育所に子どもを預けようとする保護者から見た場合にいかがなものか。この形式によると申し込み後、最短では半月で入所できるが、申し込みが1日遅うだけで入所が1カ月半後ということになると解釈できる。単純に考えると、半月あれば入所手続きは済ませることができると思うのだが、このような入所手続は適正か伺う。また、年度途中の児童数の増減や障がいのある児童への対応など、保育士の体制は万全か伺う。

A **【健康こども部長、教育部長】** 市は、保育所入所にかかわる規定に基づき、その入所手続きについて、市が保護者からの入所申し込みを受け付けた後、保護者が希望した保育所との連絡調整を行いながら進めている。現在、入所を希望する場合は、前月の15日までに申し込みをすることになっているが、これは、入所する児童の入所準備期間や、保育所側の受け入れ体制の準備などの期間を考慮しているものであり、適正に行っているものと

考えている。ただし、保護者の急病や就労を継続したままでの市外からの転入、あるいは、災害などによる被災など、種々のケースにより、急を要する入所希望に対しては、その事情を十分に考慮しながら、随時、相談させていただき入所の時期を決めている。

また、保育士の体制については、採用枠拡大や処遇改善等に努め、現在就労している保育士の継続雇用が確保されることで、平成26年度当初からの入所申し込みについては、支援を要する児童への対応も含めて十分に対応可能な体制となっている。



保育所の入所手続きが行われる窓口

市政「いっぴん質問」



照井 明子 議員

鳥獣被害対策について 実施隊員への加入促進を図る

Q 鳥獣被害は、被害の深刻さ、広がりが顕著になってきており、市民の暮らしを守る対策は急務となっている。市内在住の有害鳥獣駆除有資格者は何人か。また、市が設置する鳥獣被害対策実施隊の隊員数および隊員確保対策を伺う。

A **【農林水産部長】** 市内在住の銃の所持者は111人、そのうち有害鳥獣駆除の用途による銃の所持者は93人である。平成25年11月末現在で75人の隊員によって構成されているが、仕事の都合で出勤できない場合や高齢化の問題もあることから、隊員確保は重要なことと認識している。よって、市内のNPO法人が行っているハンティングスクールによる銃所持者の拡大や、実施隊員になっていない狩猟者への加入を促し、実施隊の組織体制の維持向上と有害鳥獣駆除の円滑な実施に努力したいと考えている。



国体開催に向け施設整備が進む(花巻市クレー射撃場)

Q **【市長】** 平成28年に開催される両大会の内訳と競技数については、国体10競技、障害者大会3競技、さらに第71回国民体育大会冬季大会1競技の合計14競技が、本市を会場に開催される予定となっている。施設の改修・整備については、花巻球場をはじめとする6施設において、平成24年度から平成26年度の3年間で、約6億6000万円の整備事業費となっている。そのうち、市の負担総額はまだ確定していないが、現時点においては約3億8000万円となっている。

国体施設の整備費は



櫻井 肇 議員

個人市民税の税率特例について 単年度で2300万円と見込む

Q 東日本大震災からの復興を図ることを目的として、平成26年度から10年間、個人市民税が年間1人5000円の税の負担増となるが、この負担総額について伺う。

A **【総務部長】** 平成26年度は、均等割が課税となる方が4万6000人ほどであり、特例分の税率が年額5000円であることから、単年度では、2300万円ほどと見込んでいる。なお、今後10年間においては、景気動向や人口減少により変動が予想されるが、現時点では、2億2000万円程度の規模と見込んでいる。

Q また、使途については、大震災からの復興を図ることを目的として、災害に備えた物資の備蓄や橋梁の維持改修など、法の趣旨に沿って活用していく。

大雨の被害復旧は

Q 平成25年8月9日に発生した豪雨被害の復旧状況を伺う。

A **【建設部長】** 全体の被災件数は970件だが、水田等の農地の被災件数352件で、うち27%が発注済み。農業用施設の被災件数は314件で、うち26%が発注済み。また、公共土木施設の被災件数は293件で、うち33%が発注済み。林道の被災件数は11件で、うち36%が発注済みとなっている。工事の復旧については、平成25年10月15日からの国の査定を受けて発注手続きを進めており、緊急を要する場合や交通の確保を要する場合には、応急復旧による対応を行ったところであり、今後も1日も早い復旧に努めていく。



災害復旧箇所が8月9日の集中豪雨により再度の被害を受ける(大迫町地内)

Q 平成25年9月より、中国大連市から研修生を受け入れているが、行政情報漏えいや個人情報流出の危険や懸念はないか。

A **【政策推進部長】** 守秘義務や職務専念義務等の服務については、大連市との公務員交流研修協力覚書をもとに「花巻市大連市協力交流研修員受入要領」を定め、受け入れ時には研修員から守秘義務に関する誓約書を提出いただき、それに従い研修を進めている。公文書管理と個人情報保護の体制については、受け入れの担当である国際交流室において、日々の業務の中で指導や見守りを行い、管理や保護の体制を整えている。

中期プランの遅延

Q 膨大な期間と労力を費やした「まちづくり総合計画」の第1期の中期プランが、いまだに示されない。大幅に遅延している理由と今後の運用面における課題について伺う。

A **【政策推進部長】** 当初の計画策定の基本方針では、平成25年度内に策定するスケジュールとしていたが、平成25年9月定例会での長期



市民に分かりやすい「まちづくり総合計画」の実行が望まれる

市政「いっぴん質問」